

平成24年度奨学審議委員会議事録

日 時：平成24年5月21日（月）

9時30分～11時30分

場 所：石狩市役所本庁舎

4階 401・402会議室

出席委員 市内中学校長5名：佐々木（一）委員、佐々木（利宏）委員、竹部委員、高橋委員、菅原委員
民生委員3名：東委員、池田委員、片岡委員
学識経験者4名：河本委員、後藤委員、武田委員、中谷委員 計12名

欠席委員 市内中学校長1名：越田委員
学識経験者2名：久保田委員、桑島委員 計3名

事務局 蛸谷学校教育課長、山下学校教育担当主査、竹内主事

傍 聴 個人情報を取り扱うことから非公開

会議次第

1. 委員長選任

委員長は当日、委員の互選により、高橋尚夫委員長を選出した。

2. 諮問

平成24年度奨学生の選考について

3. 審議

審議に先立ち、事務局において資料等の説明を行い、資料は審議終了後に回収する。

応募者 85名（高校生63名、大学生22名）

【応募状況：事務局説明】

- ・ 今年度の応募者数は、平成23年度の86名とほぼ同じ85名となっている。（高校生63名、大学生22名）
- ・ 今年度の応募者のうち、前年度に奨学生として選考されていたものは、高校生が27名、大学生17名である。

【本年度選定基本方針】

- ・ 前年度に奨学金を受けている者は、基本的にその家庭状況が変わらなければ選考すべきと思うが、成績やその他の応募者の状況で選考しない場合もありうる。
- ・ 兄弟で応募し、そのいずれも選考基準を満たしている場合は、より多くの家庭に奨学金の受給の機会を与えるために、兄弟のうちいずれか1人を選定した方がよい。

- ・ 高校、大学の応募者のどちらに重きを置いて選考すべきかといえば、現状では中学卒業からの就職は非常に厳しく、ほとんど高校に進学していること、また、高校の場合大学に比べ奨学金制度の充実度が劣る、更に大学生に比べアルバイトで自ら学費等を賄うことができるかという点から、やはり高校生ではないかと考える。
- ・ 石狩市奨学生選考基準より、過去2年間の成績を考慮して選考することとあるが、資料では、現在2年生の応募者については、過去1年分の成績しか掲載がないため過去1年の成績だけで判断することとなるが、進学による環境変化で成績を落とすこともあり、継続の応募者については、過去の成績も考慮に入れて選考を行うべきである。

4. 答申

高校生40名、大学生14名を平成24年度奨学生として選考。

平成24年 6月 4日 議事録確定

石狩市奨学審議委員会 委員長 高 橋 尚 夫